

庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

開催日時：平成30年1月22日（月）午後1：30～3：30

場 所：余目保健センター

出席委員：菅原源也、齋藤学、市村正浩、日下部忠明、佐藤昭一、佐藤トク、庄司武晴、齋藤君夫、水尾良孝、中鉢智幸、鈴木恵子、工藤むつ子、渡曾弘喜
（欠席）鎌田剛

出席職員：池田保健福祉課長、鶴巻主幹、高山課長補佐、鈴木主査兼地域支援係長、長南主査兼介護保険係長、加藤主査兼福祉係長、阿部主査兼子育て応援係長、齋藤主査兼健康福祉係長

内容は次の通り

1 開会

2 委員長あいさつ

諮問いただいた計画の審議となり、意見をまとめていく。委員2年の任期、実質最後の委員会となり、活発な意見をよろしくお願ひしたい。

3 協議

司会：水尾良孝委員長

（1）健康しょうない21計画策（第3次）策定について

事務局より説明（資料1）

主に前回提示した資料からの修正箇所について説明

委 員：自殺の問題について、自殺の理由・動機・原因等は把握しているのか。

事務局：来年度以降、市町村毎に自殺対策における計画を策定しなければならない。毎月国で集計したものが市町村に提示される。病気特にうつ病による自殺、追い込まれた末の死であることが多い。家族関係や経済的な問題が原因のものも多く、1つの原因というより、複雑にからんでいる場合が多い。

委 員：入院中や退院後の自殺が多いのか、時期的なものを含めて対策を。

事務局：来年度計画策定を予定している。ゲートキーパーの養成を行っているが、病気の理解に留まっている状況なので、死にたいと言われた時にどう対応支援していくか、相談をどの機関につなげていくか等、もっと踏み込んだ取組みをしていなければならないと思っている。

委員長：来年度計画の検討をお願いしたい。

委 員：目標値に対する評価について、悪くなっているが多い。原因特定されて

いるものがあるか。悪化した原因がわかっているなら文章に入れてはどうか。

事務局：アンケート対象者（前回：健診会場での健診受診者、今回：無作為での町民）が違うことで、評価にばらつきがあった。前回の計画で目標を高く掲げすぎたことも原因のひとつ。特定できるものは表記するよう検討したい。

委員：麻薬に関しては取り締まりあるのに、たばこについては寛容。たばこに関していろんな害があるのに、なぜやめないのか。たばこ作らないようにした方がいいと考える人はいないのか。

事務局：集落公民館については、集落間での温度差が大きい。

課長：たばこ作らないようにした方がいいと思っている人はいると思う。学校や若い年代については、啓蒙によって喫煙者少ない状況になっているのではないか。たばこ産業で生計立てている人もおり、社会構造の中では難しい状況。害を減らす努力、企業でも煙の出ないたばこ等工夫はしているが、現実的には難しい問題。

委員長：双方の立場に立つと、喫煙者にとって寛容な雰囲気もあるようだ。

委員：高齢者の健康について、教室等での普及啓発を行っているようだが、評価時の認知度はほぼ横ばいとなっている。

事務局：ロコモに関しては、認知度やや増加している。低栄養については、家族が少ないと、食事のバランスがあまり良くない人もいる。今後も普及啓発を行っていく。

委員：女性の一人暮らしはなんとかなるが、一人暮らしの男性の食事については、買物や食事の準備等で問題となることがある。相談する場や行政でのかかわりについて議論する必要もあるのではないか。

委員：年寄りあまり食べないというイメージがあるが、年をとってもしっかり食べる（肉などたんぱく質）ものだというのを、知ってもらいたい。

委員：男の厨房等に従事してみて、男の人の意識も変わってきたと思う。食事をしっかり摂っている人は元気。外出して人との交流や食事を楽しむことなどを今後の事業でも話ししていきたい。

委員：ゲートキーパー、認知症の人への対応について。お金もらっていない・浮気している・畑に除草剤まかれた等被害妄想の人がいると、地域では関わりたくない感情があり、その家族も構わないでほしいと思っている。対応が難しく、どう普及していけばいいのか。

事務局：認知症で被害妄想が出ている場合は、そのままにしておくと、長引いてしまい、頭から離れず悪化してしまうこともある。早めの相談を。

事務局：認知症サポーター養成講座を開催したり、安心ガイドのチラシ配布して

啓蒙している。認知症初期集中支援チームの立ち上げも行った。個々に応じた対応をしていきたい。

委員：H23年度からスポーツクラブを始めている。運動分野では評価が悪くなっている状況。これからも運動習慣定着のために、一緒に事業を考えて協力しながらやっていきたい。

事務局：運動については、やっている人と全くやっていない人の差が大きく両極端である。運動していない人にいかに運動してもらうかが課題。

委員長：事業が知られていないこともある。運動の効果や良い事例を発表するなど、周知していくようにしてほしい。

委員長：目次の修正、P63：Ⅲ、P65：Ⅳとなる。

委員：P2：最上川は月山に源を発するのか。

事務局：確認してわかりやすいように表記する。

(2) 庄内町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画策定について

事務局より説明（資料2）

主に前回提示した資料からの修正箇所や追加について説明

委員長：介護保険料については、デリケートな数字なので、丸秘として扱っていただき、質問をお願いしたい。

委員：自立支援型地域ケア会議のメンバーは？

事務局：薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科医師等で構成。要支援認定受けた方。

委員：家族介護慰労金について確認したい。

事務局：介護サービスを1年間受けずに在宅介護している方に10万円支給している。H28年度は2人該当していたが、死亡により、H29年度は該当者なし。支給要件を緩和していく予定でいる。

委員：関係市町村の連携について、日本海ヘルスケアネットも入れた方がいいのではないか。

事務局：立ち上がったばかりで、もう少し広がりを見せてからということで、今回の計画には入れていない。

委員：H37年度の試算では介護保険料が9,033円になると出ているがどうなるのか。基金の取り崩しを行うとの説明だったが大丈夫なのか。

事務局：H37年度は第9期の計画となる。この先はこの試算どおりになるとはわからない。基金については今年度も貯金できる予定で、今年度からの積立も予定されているので、大丈夫と思われる。

委員長：庄内町が県下1の介護保険料となった時代の苦労も知っている。被保険者の理解も含めて、今後がんばってほしい。

委員長：地域支援事業費については、伸び率さほど高くないが大丈夫か。

事務局：急激には増えないだろうということで、抑えた金額になっている。

委員：介護予防を推進する地域づくりとあるが、具体的に考えていることあるのか。

事務局：いきいき百歳体操等を媒体とした通いの場として、H27年度1集落から始まり、H29年度現在9集落で実施している。九州や四国で普及しているところでは、元気な高齢者が多く、介護サービス費も低く抑えられているとのデータ出ている。地域のサロン等においては、運営する人の負担になっている状況もあり、参加型サロンから運営形態の転換も必要。地域支援コーディネーターを社会福祉協議会に配属し、地域の現場での支援をしていく予定でいる。

委員：鶴岡の介護施設で働いているが、介護職員の人材確保について、人口の歯止めとなる施策があればいいのか、具体的な課題に向けた取り組みがあればいいのではないか。

事務局：他の部門と連携し、今後も検討していく。

(3) 障がい者計画（第3期）・障がい福祉計画（第5期）・障がい児福祉計画（第1期）策定について

事務局より説明（資料3）

委員：第5期障がい福祉計画の成果目標として、国の考え方はあるが、町の取組の方法が抜けているのではないか。

事務局：町の取組方法を考えていく。

委員：相談支援の見込みで、地域移行支援が1人、地域定着支援が0人となっており、増えない状況のようだがどうなのか。

事務局：なかなか利用されていない状況にある。事業のつくり方や制約もあり、使いにくい事業となっている。H32年度希望を込めて、1人と見込んだ。相談機関や医療機関と連携してすすめていきたい。

委員：庄内町で生活していきたいと思う人について、定着する住居の部分で支援策があれば良いと思う。居住スペースの確保。

事務局：サービスが足りないものについては、今後検討していく。

委員：単純な質問だが、第3期庄内町障がい者計画、第5期庄内町障がい福祉計画、第1期庄内町障がい児福祉計画の順に記載されているが、第5期計画が一番上にくるのではないか。

事務局：障がい者計画が一番基本となるもの。サービス提供に係る計画が第5期と第1期それぞれとなる。そのため、第3期庄内町障がい者計画が基本なので、最初に記載させてもらう。

(4) その他

委員長より、早退された委員からの意見について伝言。

①議事録について、議事録署名委員がいない。会議の内容は上に伝わっているのか。

事務局：議事録はとっており、決裁している。町のホームページに議事録をアップしている。

②委員の親交深めるために、懇談の場が必要ではないか。

事務局：食糧費等の予算は確保難しい。委員の皆さんから要望あれば計画できるが。

委員長：十分コミュニケーションはとれていると思われる。来年度以降再度検討してみてもどうか。

③会議の開催日を木曜日にしてほしい。

事務局：他の事業の調整もあり、木曜日と限定するのは難しい現状。

4 その他

○今後のスケジュールについて

パブリックコメント：1/25～2/20 広報・ホームページに掲載

2月下旬：介護保険料について、議員全員協議会にかける

3月議会：条例、地区説明会を予定

今後の修正等については委員長に一任させていただき、答申する。

○保健医療福祉推進委員会の任期は5月末まで。これまでのご協力に感謝したい。

5 閉会